

研究計画概要

助成年度・種別	2015年度 一般研究助成
研究代表者	柑本 美和
所 属	東海大学大学院実務法学研究科
研究テーマ	刑事政策の課題としての児童虐待—警察の関与の観点から
研究計画概要	<p>本研究は、警察の役割を縦軸としながら、児童相談所と家庭裁判所の役割分担、児童保護のための児童相談所と医療福祉・教育機関との連携、児童保護のあり方、その後の虐待者処罰・処遇などに関し、現在の児童虐待防止・児童保護のシステムの問題点を明らかにし、システムの将来の構想を提案するものである。</p> <p>そのために、①年4回程度の研究会開催、②児童虐待対応機関・施設の調査・研究、③事例研究、④比較制度研究を研究の4つを柱とする。児童保護の現場で生じている問題を詳細に検討し、比較研究対象国の制度と対照させ、我が国の児童虐待介入システムの改善、整備に関する具体的提言を行いたいと考えている。</p> <p>虐待対応先進国では、すでに制度の在り方やその運用などについて改善が重ねられてきている。先駆的な取り組みを行っている諸外国の制度を、より一層深く掘り下げて研究することにより、我が国の現在の児童虐待防止・児童保護のシステムの問題点を明らかにすることが可能だと考えられる。</p> <p>本研究は学際的な融合研究であって、異なる学術分野の研究者・実務家が協働して推進する点に特徴がある。そのため、プロジェクトを分けることなく、研究は一体的に推進する。</p>
選考委員からのコメント	<p>平成17年度本財団の自主研究をはじめ科研費等により、本テーマについて研究を積み重ね、既に研究書も刊行している。今回の取組では、10年の蓄積を発展させることと、新たに実施する海外現場調査を踏まえた具体的な政策提言が期待される。</p>